

# 畜産みやぎ

題字  
宮城県知事 山本 壮一郎

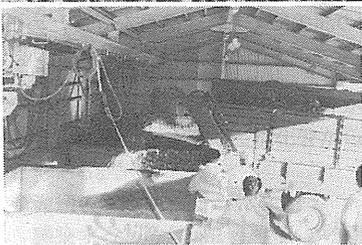
発行所  
仙台市上杉一丁目2番16号

社 宮城県畜産会  
電話 (62-9180)

編集発行人 百井 英一

定価 1部60円

印刷所 K K東北プリント



◎ 刈取りから詰込みは効率的な機械体系で  
(宮城県畜産試験場)

## もくじ

- 生乳の需給動向について……2
- 8年ぶりの牛炭疽発生……3
- 第4回全国和牛能力共進会開かる!!……3
- 「宮城県農業公社」白石・大郷両牧場  
の概要について……5
- 飼料用稲の飼料価値と生産性に及ぼす効果
- 3. もみ米利用による乳用廃牛の肥育……6
- 高級牛肉生産経営のうちと……7
- 畜産物市況の展望……9
- 随 想……9
- 宮城県牛乳普及協会からのお知らせ……10
- 人の動き……10

### 生乳の需給動向について

#### 宮城県生乳販売農業 協同組合連合会

最近の酪農情勢はめまぐるしく変転し、3月の保証価格決定時からみると大きく様変わりしている。

生乳の需給を前年同月比で見ると次のようになっている。(農林統計速報)

	年月	生乳生産	飲用向	乳製品向
全 国	57年4月	100.8%	102.3%	99.2%
	57年5月	99.5%	105.3%	91.0%
	57年6月	100.1%	104.3%	93.9%
	57年7月	104.4%	95.3%	124.7%
宮 城	57年4月	103.6%	103.7%	89.4%
	57年5月	99.1%	100.6%	57.7%
	57年6月	97.1%	100.2%	30.8%
	57年7月	107.2%	93.3%	255.2%

4, 5, 6月と好天に恵まれ、ことに6月のカラ梅雨で需給は引き締まり明るさを増してきた感じがしたところ7月にはかつてない冷夏に見舞われ、飲用消費は減少(全国、前年比6.2%減)加工向が増加した。(全国、前年同月比124.7%)。生乳生産は、本県においても前年比7.2%の増を数え、需給好転に水をさされたような天候であった。8月にはいってから台風14号の接近まで高温の日が続いたが、足早な秋の訪れを予想する向きもあり、残暑の少しでも長いことを祈る気持ちではあるが、去年が極端に残暑の全くない最悪の状態だっただけに去年よりはよいであろうとの見方もされている。

飲用市場については大手メーカーと農協プラント、中小メーカー等のシェア争いは一層激しく、スーパーの戦略、戦術にまんまと利用され、さらに悪循環を繰り返しかえし依然として販売価格は低落基調にある。しかし、昨年の公正取引委員会の介入により、環境整備問題は一頓挫の状態にあり、安売り販売は野放しになっ

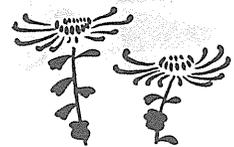
ている。3年間生産者が苦闘を続けた需給調整、計画生産を突りあるものにするカギは市場価格が回復し、生産者価格に反映する状況を醸し出すことにあると思う。農林水産省の強力な行政指導をまつ声が高まっている。

一方、乳製品市場は事業団の度々の放出によって在庫が次第に減少し、8月18日現在の事業団手持残はバター2,760トン、脱粉21,850トンとなり生乳換算で150,203トンとなった。市況はバター安定指標価格比110.5%=ポンド623円、脱粉106.6%=241円(8/10衆院物価特委で森理事長答弁)と依然高値安定となっている。

バターの事業団在庫の減少から、年末需要に対応するには輸入せざるを得ないのではないかということが問題となっているが、今まで放出されたバターは一体どうなっているのか疑問である。このような状況のままのバター輸入は、計画生産に身をけずる思いで苦労を重ねてきた生産者にとっては断じて容認できない。

このような酪農乳業のゆきづまりの打開に向けて、5月18日以来8月19日まで自民党飲用牛乳流通問題等小委員会(別称、吹田委員会)が10回にわたって開催され、関係諸団体からの、事情や意見の聴取、内容の検討がすすめられ、11月までに総括的に結論を出す予定とされているが、何とか我々の主張を反映して、打開の道をひらいて欲しいものである。

天候による乱調子はあるにしても、需給が緩和から緊張へ変わりつつあるという基調には変化がないとの判断に立て、冷夏の浦手にくじけず酪農を守るため一層団結を固め頑張っていくことを誓ってまいりたい。(滝沢)



医薬品総合商社  
動物用薬品、器具機材

**SENJUDO**

株式会社 **山田仙寿堂**

取締役社長 山田修造

本社/仙台市木町通1丁目5番19号  
電話/0222653151(大代表)

営業所/古川・石巻・気仙沼・盛岡・水沢・山形・米沢

**くみあい養豚用配合飼料**

ピグB  ピグミルク

ピグC  ピグA

**スーパーピグシリーズ**

農協 **全農** 経済連

## 8年ぶりの牛炭疽発生

宮城県畜産課

去る8月31日、加美郡色麻町の一酪農家に草食獣の急性熱性伝染病で脾臓の急性腫脹を特徴とする牛炭疽が発生いたしました。

本県での発生は昭和49年河北町に発生して以来8年ぶりのことである。発生と同時に県及び家畜保健衛生所に対策本部、色麻町・宮崎町には現地対策本部を設置し、発生農家については牛乳の出荷停止を行うとともに同居牛について、抗生剤の投与並びに血清注射を実施した。又同時に発生があった小字地区を家畜等の移動制限措置をとるとともに予防注射のほか検病並びに消毒を反復実施し、まん延防止に努めた。その結果、その後の発生が認められず対策本部は、9月14日発生農家の牛乳出荷停止を解除、同月17日発生地区の移動制限等の解除を行った。

### ◆炭疽とは

炭疽菌の感染によって起こる牛・馬・豚・山羊・綿羊などの動物に見られる急性熱性伝染病で、この病原菌は長く土の中に存在している、いわゆる土壌病の一種で死亡率が高いため法定家畜伝染病に指定されている。

また、人畜共通伝染病としても重要であり人体感染の場合多くは皮膚に発赤小丘疹を生じ小水疱または膿疱を形成する。

### ◆感染のようす

土壌に含まれた炭疽菌が皮膚などの傷口や咽喉頭部の粘膜などから侵入感染するのが主で、汚染された飼料、飲水などを介して消化管から感染が成立することもある。

### ◆発病のようす

感染すると数日(1~5日)の潜伏期ののち発熱(41~42℃)が起こり突然死亡するが多い。

### ◆予防と対策

発生を予防するため

- ①畜舎内外の消毒を励行すること。
- ②家畜や人の出入りについて注意すること。
- ③飼養環境の急変を避けること。
- ④本病の発生があった地域では、予防注射を受けること。

などが大切である。

### ◆病畜が出た場合

原因不明の病畜が出た場合は、すみやかに地元獣医師並びに家畜保健衛生所などの最寄りの機関に届け出て、指示を受けるようにしましょう。

(衛生係 大村)

## 第4回全国和牛能力共進会開かる!!

全国和牛登録協会  
宮城県支部

5年毎に肉用牛改良の成果を競う第4回全国和牛能力共進会が隣県福島の本宮町で9月15日より20日まで6日間に亘り開催されました。全国の肉用牛生産県としては、その成果が即、子牛価格に影響することもある予選に予選を重ねて選ばれた代表牛が出品されました。

この共進会の特徴は昨年11月5日開会の10ヶ月間の会期中、出品条件として出品者の経営規模や出品牛の繁殖能力、産肉能力など経済性をとり入れた一定の基準を設けて最終の比較審査となったものです。会期中からの参加や、入れ換はできないことになっています。全国33道府県の出品頭数種牛281頭、肉牛33頭計314頭であります。本県からは種牛11頭、肉牛1頭計12頭の参加で本県としては前回の都城で開催された第3回全共から見ると大きく飛躍していますが、各県の進歩も目覚しく、本県牛は体型資質が優れている反面体高、体積に少々乏しい点が今回の共進会でも強く感じられました。5、6、7区の単独出品牛(若牛)では同区出品牛平均体高より本県牛は2.2~3cm小さく、体重で11kg~50kg小さい。3頭群に於ては、1頭

動物用薬品器材のことなら 古い伝統  
と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

**東北獣医薬品株式会社**

TEL ☎ 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼菰洗1

02202 (2) 2278~9

山形営業所 山形市小石川四丁目9~24

0236 (23) 9909・9900

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

02293 (4) 2018~9

画期的な家畜ふん尿処理用  
めづまりのない

**多板式固液分離機**

- 生ふん尿水の決定版
- 公害防止に貢献
- 省力化に威力

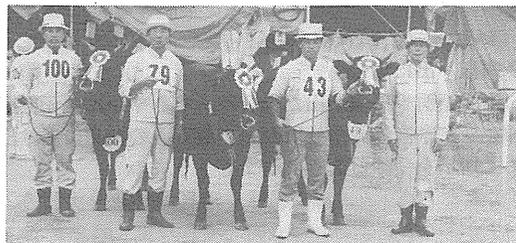


株式  
会社 **五十嵐商会**

仙台市中央三丁目5番14号

平均で1.8cm、体重52kg小さく、5頭群では、1頭平均体高5.1cm、体重123kg同区平均より下廻っています。このことについて本県牛は今後一層の改良を促進すべきであることを痛感します。

全体の講評として第3回全共より発育、体型の向上と、資質の改良が目覚しく各県地域間の差が縮まり、和牛の経済能力の斉一性が急速に高まりつつあることが実証されたとのことであります。本県は生産県とし



7区 6区 5区



10区 3頭群



12区 5頭群



14区 肉牛

等賞	出品区	月令	名号	生年月日	父	出品者
優等賞	第5区	17~19ヶ月	きくり1170	56.4.1	守1	岩出山町 大内 壮逸
全上	第6区	20~23ヶ月	いたひら3の10	55.11.1	安美金	迫町 上野 新一
全上	第7区	24~26ヶ月	もとひげ	55.8.28	茂重波	南方町 千葉 千利
全上	第10区 3頭群	28ヶ月以上	しろふき	54.4.12	房	南方町 只野 隆
			くにゆき	54.1.24	第8桂月	
2等賞	第12区 5頭群	48ヶ月以上	ふさただ	53.8.18	房	栗駒町 菅原 長寿
			ちよの	52.5.14	和人	渡辺善四郎
			きよひかり	51.4.20	富光	佐々木清人
			ふくただ	50.7.30	福昌	菅原 長寿
			かずよし	50.1.22	富光	伊藤 和
1等賞	第14区 (去肥育牛)	25ヶ月未満	城錦	55.9.17	城芳14	古川市 高橋 猛

て愈々改良向上を図ることが急務であり関係各位の尚一層の御指導と御協力を願うものであります。最後に出品者各位の長期の御努力と御苦勞に深く感謝を申上

げますと共に県を始め関係機関並びに各位の御指導と御支援に対し厚く御礼申上げる次第であります。

(堀江)

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。畜産農家の近代化に作業の省力化に大きく貢献します。豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社  
東北ディー・シー・エム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35  
電話 0222-95-5517・5511

牧場用柵には 強く美しくスマートな

東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼(株)仙台営業所  
仙台市一番町二丁目7-5 TEL 0277053  
販売元 塚本商事機械(株)東北出張所  
仙台市花京院二丁目1 TEL 0277771  
代理店 本山振興株式会社  
仙台市昭和町6番10号 TEL 046221

## 「宮城県農業公社」白石・大郷両牧場の概要について

### 宮城県農業公社

さきに当誌上で公社事業のあらましについて紹介させていただきましたが、今回は表題の両牧場について事業の内容等お知らせ申し上げます。

公社は、広大な草地を利用した白石・大郷の大規模牧場の運営管理を行ない次の事業を行っています。

#### 「白石牧場」

##### (1) 乳用牛の預託放牧

夏期を主体に酪農家の乳用育成牛(7ヶ月～16ヶ月)を放牧期間中(5月～10月)受託放牧し、希望により種付のうえ預託者に返す事業で、昨年度は、仙南各市町村より90頭の預託を受け1日当平均増体量482gで、全頭事故なく預託者に引渡しました。本年も4月6日以来84頭の預託を受け継続放牧育成中でございます。

##### (2) 乳用牛買取育成事業

優良乳用種雄牛選抜事業に係る検定予定娘牛を導入、育成後指定種雄牛を交配し、妊娠確認の上県に納入し、一部は、買取育成牛及び肥育素牛として販売を行なっています。

##### (3) 肉用牛の生産育成配布

肉用子牛の配布要請の高まりに応えるべく黒毛和種基礎雌牛を毎年度約80頭全体計画として300頭の繁養を計画し、大郷同様肉用子牛の生産配布を行なうために現在迄160頭を宮崎、岡山、鳥根及び県内から導入放牧育成中であり、本年度約70頭の子牛生産が見込まれ、逐次農家の皆さんに生産牛を配布の予定でございます。特に、昨年は県肉牛改良小委員会の意見等も徴し、鳥根及び岡山系統を選抜購入いたし、体積に富み早熟性を兼ねた肉牛の生産にあたってまいり所存です。

当牧場は、従来県営牧場として乳牛の預託買取育成を主として運営されてまいりましたが、昭和54年当公

社に移管されて以来、公社機能と公共的大型牧場の特性を活用し、その弾力的また企業的機能を活かしながら牧場の有効活用と健全経営を図ることといたしており、昨年来、公共育成牧場整備事業の補助を得て育成牛舎分娩牛舎の施設設置と草地の整備、牧道の建設等を意欲的に進め皆様方の期待に応える牧場として鋭意努力中でございます。

#### 「大郷牧場」

昭和45年大規模肉用牛生産牧場として建設以来12年を経過し、この間約1,600頭の生産子牛を肉用牛農家に配布してまいりました。現在繁殖雌牛は約300頭で、年間約200～250頭の子牛を配布の計画であり、雌牛は、繁殖雌牛に、去勢牛は、肥育素牛として毎年度3月1日迄市町村、家保経由で配布申請書を理事長宛提出いただき配布の要望に応じております。

ちなみに、牧場の繁殖雌牛は、兵庫産を主体に宮崎等から導入し、種雄牛は、主として畜産試験場繁養種雄牛を供用しており、放牧による丈夫で足腰の強い経済年限の長い立派な牛が生産されておりますので一度牧場にお立ち寄りの上、ご高覧を賜りたいと存じます。

なお牧場の概要は次のとおりです。

	白石牧場	大郷牧場
土地面積	339.8 ha	270 ha
飼養頭数	預託牛 83頭 検定牛 40頭 繁殖牛 157頭	繁殖牛 300頭
年間子牛生産目標	200～230頭	200～230頭
供給月令	8～10ヶ月令	8～10ヶ月令
飼養計画		周年放牧、人工受精
施設	避難舎1棟 農具庫2棟 育成舎1棟	避難舎2棟 育成舎1棟 乾草庫2棟 飼料庫1棟

糞尿処理メーカーの糞尿専用

**ヒドロポンズ**

マイティシリーズ  
スラリーポンプ  
チョッパーポンプ  
ノンクローポンプ  
ヒドロススリン



発売元



株式会社 **東北加藤**

〒983 宮城県泉市南光台二丁目22番15号  
TEL.0222-74-0781 (代表)

システム農業をクリエイトする

**STAR**

タフで働きものの

Mr. 3000 牧草梱包  
Mr. 2000 稲わら梱包



THB 2000

**スター農機株式会社**

仙台営業所 983 仙台市福町2丁目4-2 佐佐木ビル内  
0222-58-7301

管理用 機械	トラクター5台	トラクター3台
	デスクハロー1台	ミニローダー1台
	バキュームカー2台	ブロードキャスター
	ブロードキャスター	1台
	1台	リアーモア2台

以上両牧場の概要を申し述べ今後共関係各位のご指導御協力をお願い申し上げる次第です。

(松本 渡)



〈畜試便り〉

飼料用稲の飼料価値と生産性に及ぼす効果

もみ米利用による乳用廃牛の肥育

渡辺 弘

はじめに

飼料用稲の牛での飼料価値の究明を目的として実施した一連の試験の一つで、粉碎もみ米を乳用廃牛に給与し、産肉性に及ぼす効果について検討した。

試験方法

ホルスタイン種経産牛で繁殖障害を起した24~39カ月令のもの4頭を用いて、粉碎もみ米給与による短期肥育(98日間)を行った。

給与飼料は表1のとおりで、給与量は、1日当り期待増体量を0.8kgとし、養分総量(TDN)当りの要求率10を基準として算出した。また、もみ米の濃厚飼料代替率はTDNで55%以下とし、粗飼料は稲わらを用い、その給与率は乾物(DM)で全飼料の25%以上

として、1日1頭当り給与基準は、体重(445~550kg)に関係なく一律に、肥育配合飼料4kg、粉碎もみ米6kg、稲わら(切断)4kgとした。

表1. 給与飼料

飼料の種類	養分量(%)		
	DM	DCP	TDN
肥育配合飼料	88.0	10.0	72.0
粉碎もみ米	86.5	4.6	59.5
稲わら	87.0	1.1	37.8

成績

1. 給与飼料の採食状況は表2のとおり良好で、肥育配合飼料3.9kg(97.5%)、粉碎もみ米5.6kg(93.3%)の採食量となったが、稲わらについては6週目頃より残量が見られ3.6kg(90%)となった

表2. 飼料の採食量 kg/頭

種類	項目	総給与量	1日当たり給与量
肥育配合飼料		390	3.9
粉碎もみ米		553	5.6
稲わら		353	3.6

2. 養分摂取量は表3のとおり、TDNで日量7.5kgとなり、給与比率は肥育配合飼料30.4%、粉碎もみ米42.4%、稲わら27.2%となった。またもみ米の濃厚飼料代替率は53.9%であった。

表3. 摂取養分量 kg/頭

種類	DM		DCP		TDN	
	総給与量	1日当り給与量	総給与量	1日当り給与量	総給与量	1日当り給与量
肥育配合飼料	343	3.5	39	0.4	281	2.8
粉碎もみ米	478	4.8	25	0.3	329	3.3
稲わら	307	3.1	4	0	133	1.4
計	1,128	11.4	68	0.7	743	7.5

畜産の健康と未来に貢献する

獣医薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機械

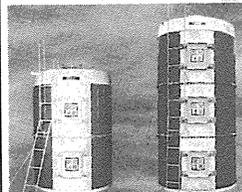
小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市二枚橋第一地割296-5 TEL 0198 264151(代)

古川営業所 宮城県古川市稲葉字大江向179-1 TEL 02292 (3)8388(代)

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所  
盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所  
大船渡営業所 横手営業所 山形営業所

※ 肉用牛の飼養に是非サイレージを  
※ 信頼性の高いステンレス気密サイロ



オリオン ミニスター

OSM-10 10m<sup>3</sup>  
OSM-15 15m<sup>3</sup>

オリオン機械株式会社

仙台営業所 仙台市六丁目 TEL 94-0691代  
仙北出張所 築館町字久伝 TEL 2-9242  
仙南出張所 大河原町幸町 TEL 3-3355

3. 飼料要求率は表4のとおり、濃厚飼料の原物で9.0～12.7、平均10.7となり、もみ米を玄米率75%で算出した要求率では平均9.1となり、乳用廃牛の肥育指標とされている10.0以下となった。

表4. 飼料要求率

No.	濃厚飼料		※※ TDN	摘要
	配合+もみ米	配合+玄米※		
1	11.5	9.8	9.1	※もみ米中の玄米率を75%として算出 ※※給与全飼料のTDN
2	12.7	10.9	10.0	
3	10.6	9.0	8.3	
4	9.0	7.7	7.1	
平均	10.7	9.1	8.4	

4. 増体成績は表5のとおり、期間増体量は74～105kg、平均88kgで、DGも0.76～1.07kg、平均0.9kgとなり期待値を上まいった。

表5. 増体量 (98日間, kg)

No.	項目	開始時 体重	終了時 体重	期間 増体量	1日当り 増体量
1		482	565	82	0.84
2		550	624	74	0.76
3		473	562	89	0.91
4		445	550	105	1.07
	若令牛 平均	487.8	575.3	88	0.90

まとめ

乳用廃牛の短期肥育における粉碎もみ米の利用性について検討したところ、配合飼料の代替として50% (TDN) 程度利用しても悪い影響は認められなかった。

(研究第一部長)

高級牛肉生産経営のうちそと

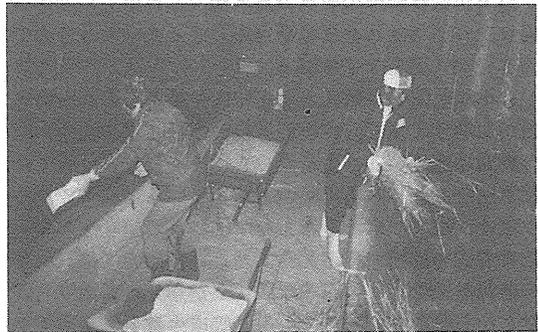
宮城県畜産会

『河北町(日本)で昨年、肉牛の宮城県選手権を獲得した佐藤ヨシハル(44才)は、18才になる長男が、彼が賞をもらったことで大に意気があがっていると語った。「父が県のチャンピオンを勝ち得たのなら、僕は日本選手権を得ると長男は言っている。」と言う。』

何やら“変な外人”的文章であるが、「佐藤ヨシハル」とは、桃生郡河北町針岡で肉用牛肥育経営を営んでいる佐藤良晴氏のことである。昨今の引きならぬ事態にある日米農畜産物の自由化問題に関連して、ロサンゼルス・タイムスの米人記者が、本年4月に肉牛飼養実態を取材した際の記事(訳文……畜産とは無関係の人が翻訳。)の冒頭部分である。

佐藤さんは、文中の宮城県選手権に当たる第21回仙台牛枝肉共進会、黒毛和種・去勢の部でみごとチャンピオン賞を獲得したことでその筋では有名である。

また、『「佐藤は牛肉の自由化を言うことは、私に死ねと言うことを意味する。」と語っている。』と述べ、かの米人記者は、日本の消費者が好む“霜ふり肉”の錯雑たる生産過程と、それに固執せざるを得ない生産志向や肉牛農家がかかえている多額の負債を見て、日米の牛肉生産構造の差異をとくと認識したのでは…と思うのである。





飼い上手 育て上手は……  
みのに……で  
動物薬品・獣医器具総代理店  
株式会社 美濃谷




本店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL093121  
山形店 山形市山田字羽黒堂5番216 TEL494306  
仙台店 仙台市山田字羽黒堂5番216 TEL494306  
鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL040963  
いわき店 いわき市常磐湯本栄田3 TEL024640300

さわやかに 健やかに

おいしさいっぱい  
今日もいきいき

森永ハイクワン牛乳

宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目3番27号  
☎(02238)4-5181

前おきが長くなったが、米紙にも紹介された佐藤さんの経営内容を、とくに許しを得て次に述べることにしましょう。佐藤さんが肥育牛の生産に本腰を入れたのは、米の第一次生産調整が始まろうとする昭和45年で、米1反歩＝肉牛1頭というのが所得目標であった。その後、毎年10頭づつ計画的に増頭し、現在は80頭の飼養規模をもつに至ったが、その間オイルショックに遭遇、儲かる牛飼いをするには、粗飼料の自給が第一と、52年には2haの水田のうち1.1haを牧草に転換した。

昨年、さらに牧草畑を取得(購入)して、生産基盤の充実を期しているが、何といっても52年の思い切った転作が経営の転機であり、また牛にかける並々ならぬ意気込みを感じさせるものである。

全頭が黒毛和種で、主として去勢牛による理想肥育方式をとり、高級肉づくりを目指しているが、技術内容を要約してみると、①10カ月令、250kgのモト牛を30カ月前後肥育し、650～700kgで出荷する。②肥育前期は4～5頭の追い込み、中期からは個体管理ができるようつなぎ式とする。③飼料は、発育状況、食い込みの状態によって給与量を調節し、食いやみがこないよう、また過肥にならないように細心の注意を払う。(1日2回給与)④肥育前期は、濃厚飼料の給与を控え粗飼料を十分与える。⑤疾病の発生を未然に防ぐため、日常の観察をこまめに実施する。⑥牛床はいつも乾燥させておく。(敷料はオガクズ)⑦2カ月に1回ビタミン剤を投与する。⑧削蹄は年2回自分で行なう。以上が飼養管理の要点であるが、これ以上の細かい項目については「企業秘密なのっしょ！」となるのである。

近年、全国的な傾向として、肉牛生産者の高級肉志向が加熱するあまり、血統重視、出荷体重の増大、肥育期間の延長等は、生産性の低下をまねき、ひいては採算性をも悪くして、問題となっているところである。

我々、指導に当たる者としては、より生産性の高い肥育方式を推奨するところであるが、一方では、現在の消費形態やサン中心の取引状況から見て、比較的安定した需要に支えられている高級肉生産も、必要であ

ることは言うまでもない。多少費用がかさんでも、販売単価の高い牛を揃えて、高価額販売によって収益性を確保している経営が多いことも事実である。

佐藤さんの場合は、「上」以上の格付率70%以上を保ちながら、自給飼料の増産をはじめとしたコスト低減策に日夜努力され、「粗末な牛舎に立派な牛」を実践し、毎年所得率は20%以上を確実なものとしている。

また、「松坂牛なにするものぞ」を合い言葉に、妻の絃子さんの絶大なる内助の功は勿論のこと、家族一丸となって取り組んでいる姿に接し、深く敬意を表するとともに、今後ますますの発展を祈るものである。

(石ヶ森周一)

### 新刊図書(スライド)案内

#### (図書)

畜舎等整備の手引	定価 600円
畜産物貿易読本(発刊予定)	定価 1,000円
80'日本標準飼料成分表	定価 1,000円
畜産経営・自己診断の手順と方法	定価 1,500円
最新・肉用牛飼養と粗飼料生産	定価 2,000円
畜産における統計的方法	定価 2,300円

#### (スライド)

水田利用による飼料生産	定価 8,000円
肉牛の飼い方	定価 15,000円

中央畜産会発行・お申込みは宮城県畜産会へ



## 飼料は みのり

採卵鶏用配合飼料  
ブロイラー用配合飼料  
肉牛用配合飼料  
乳牛用配合飼料

### 北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号  
TEL石巻 0225 (95) 4171~4

## 畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事 畜舎工事  
さく井工事  
ポンプ工事 設計・施工  
水処理工事

### 株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地  
電話 (0222) (93)2461

### 畜産物市況の展望

**肉豚** 農林水産省畜産局が発表した肉豚出荷動向によると、10月は1,804千頭(前年同期比102%)の出荷が見込まれ、1日当り80,200頭となる。

また、輸入豚肉は9~10月毎月1万トン程度と推測される。

一方、需要面を見ると、秋の訪れとともに季節生鮮ものの出回りが潤沢になることから、大きな期待は持てない。加工筋の動きは、6月の在庫水準が前年同月比92%程度に回復していると云われ、大手業者の年末加工原料手当ては終っているものと思われる。

しかし、中小加工メーカーは、海外市況が高いことから輸入もの手当てが遅れており、今後中ものを中心に手当て買いが入ることが予想される。上物基準は650~670円中心の動きか。

**肉牛** 肉牛の消費は、昨年来堅調な伸びを続け1~8月と連続して前年を上回っている。供給をみると、和牛は6~8月と連続して2桁近い伸びを記録している。9月の予測も7~9%程度の増加が見込まれている。

一方、乳用牛(去)は、前年同期対比3~4%減の出荷傾向となっていることから市況も堅調な動きが予測される。

例年10月は需要の端境期であるが、消費の伸びに支えられ、強基調の相場展開が続くものと思われ、和牛(去)上物2,150~2,200円、乳用牛(去)中物1,350~1,400円の動きか。

**食鳥** 本年度1~7月の出荷重量は、前年対比7%増加しており今後も出荷増が予測される。10月の出荷見通しは、55,238千羽で前年並みと予測されるが、9月に対比すれば約200万羽増加することになり、更に、56年度を体重実績と対比すると、1羽当り3.6%も大きくなっていることから供給量は潤沢となろう。

一方、需要は行楽シーズンということで比較的好調な月ではあるが、季節生鮮食品との兼合いもあり流動的な情勢で、と体大型物で290円、正肉は650円程度

の相場推移か。

**鶏卵** 昭和57年1~4月のヒナ飼付羽数は、前年対比105.9%と大巾に増加しており、これらの産卵が本格化しはじめるため供給は増加する。

一方、需要面では、量販店の特売手当、行楽等業務用需要の伸び等需要は全般的に上向くものと思われる。しかし、9月下旬の相場維持はむずかしいものと予測され、270~280円前後まで弱含む見通しである。

(宮城県経済連食肉養鶏課・桜井)



### 足腰の強い

### 畜産経営を!!

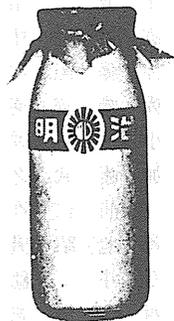
今年は天候もよく、稲の生育も順調で豊作が予想されているが、昨年一昨年と二年続きの冷害による農家経済の傷跡は大きく、末だ快復していない。その中で畜産農家は、比較的生活にゆとりがあるように見受けられる。

しかし、最近の畜産を取りまく情勢は、非常に厳しさを加え、酪農においては牛乳の生産調整を強いられ繁殖和牛農家においては子牛価格の低落、肥育牛についても価格の低迷が続き、現今では豚のみが好調であるが、これとて安定した価格では無さそうである。

農畜産物の貿易自由化が本格化する中で、我が国の畜産は、北海道を除いては足腰の弱い濃厚飼料多給型の農家が多く、外国の飼料価格の変動により大きく左右されている現況である。

家畜は草食動物であり、草こそ畜産発展に欠かせない一大要素である。

毎日通勤する路傍には、何処を眺めても野草が生い繁っている。昔であれば朝草刈りと称し、朝飯前に1段(6丸)ずつ刈ったものである。(もっとも1~2



いつもフレッシュ!!

# 明治牛乳

明治乳業

発育促進・食欲増進・栄養補給に

# バイミルコ

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全薬工業株式会社

頭飼いの農家が多かったが……)多頭化が進み毎日生草を給与することは労働的な大変なことであるが、年間を通じてサイレーズや乾草を主体とした平衡給与形態の経営に切り替えれば、労働的にも、飼養管理の点からみても、かなりの労力が節減出来るのではないだろうか。

しかし乍ら、飼料基盤の少ない畜産農家が多く、牧草や飼料作物の多収穫栽培は勿論必要であるが、野草の利用についても考える必要がある。又、毎年増加する水田転作についても、極力飼料作物の作付けを行うと共に、耕種農家との契約栽培の励行等により、粗飼料自給率の向上と、家畜ふん尿利用による購入肥料の節減を図り、生産コストを低減することが農畜産物輸入の自由化に対抗する唯一の途ではないだろうか。

一方、畜産農家で殆んど実行されていない簿記の問題がある。自分の経営の中で何処で儲けて、何で損をしているのか全く掴みどころがない。やはり経営を安定させるためには計画が必要であり、計画立案の資料となるのが簿記の記帳である。

経営を合理化し、計画的生産・計画的出荷を行ってこそ足腰の強い畜産経営が出来るものと確信するものである。

(北上町役場産業課々長補佐 佐藤 貞)

川 柳

畜産課 山木 たみ

“酒”

ロダンよりなお深刻な酔っぱらい。

焼酎を愛し、あしたに充電す。

宮城県牛乳普及協会  
からのお知らせ

牛乳料理大募集  
牛乳料理コンテスト

栄養のバランスが良いだけでなく、味をまろやかに変えてくれる牛乳、この牛乳をつかった自慢のレパートリーをお寄せ下さい。

【ご応募方法】

原稿用紙・便せん又は、牛乳販売店に備付けの応募用紙に、料理名、材料名、分量(4人分)、材量費、作り方(所要時間)をお書きのうえ、郵便番号、住所、氏名、年令、職業、電話番号をご記入になり宮城県牛乳普及協会までお送り下さい。

【選考方法】

書類選考のうえ、優秀作品10点を選出し11月下旬にその中から実演による決勝大会を行ないます。

【各賞】

- 最優秀賞(1名)……賞金5万円
- 優 秀 賞(2名)……賞金3万円
- 佳 作(7名)……賞金1万円

【締 切】

昭和57年10月25日(月)(当日消印有効)

【送 り 先】

〒980 仙台市錦町2-1-40 農協会館錦町分室  
宮城県牛乳普及協会「牛乳料理コンテスト」係宛



人の動き

宮城県経済農業協同組合連合会

8月1日付

新	旧	氏 名
総務部付宮城米改良協会出向	営農対策部長兼総合技術課長	半 沢 祐
営農対策部長兼総合技術課長	総合配送センター所長	高 橋 桂
仙台中央食肉卸売市場側専務	酪農畜産課長	佐 藤 照 雄
酪農畜産課長	黒川家畜市場長兼酪農畜産課	佐 藤 善 英
企画管理課兼監事室	酪農畜産課長補佐	小 林 益 雄
事務課長	食肉養鶏課長補佐	加 藤 武 之
黒川家畜市場長兼酪農畜産課	酪農畜産課兼黒川家畜市場	三 浦 仁 雄
飼料課長	築館支所次長	斉 地 昭 男
飼料課	総務部付東北くみあい飼料側出向	石 井 稔
食肉養鶏課長補佐	小牛田出張所	西 條 将 志
酪農畜産課長補佐	仙台支所	佐 藤 昌 念